

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.3 1

2008.3.5

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

軍は自国民を守るか？

アメリカの従軍記者ロバート・シャーロッドの著書「サイパン」(光文社1951)。ロバートは、自らの目を見た、この世とは思えない戦場の様子を生々しく描いているが、特にも日本兵の「バンザイ突撃」や自爆、「ハラキリ」を目の当たりにして、その信じられない光景に驚いている。

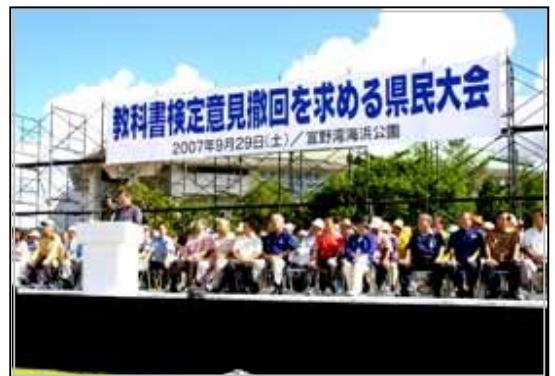
おびただしい死体の多くは右手を失い、さらに胸部か腹部を失っており、自決とすぐ分かる。これは、非戦闘員である在留邦人においてもしかりであった。著者は、投降してきて民間人収容所にいる者を見て、その多くが原住民であり、邦人が極端に少ないことに気付く。そして、マルビ岬(マツビ岬)で米兵から恐ろしい話を聞く。

「この断崖の下の岩の合間には、首のない子どもたちの死体がたくさんありますよ。(中略)子供たちの親がみずからわが子の首を切りおとして、それから海中に投身自殺をはかったということです。」

いわゆる「バンザイクリフ」の光景である。著者は、崖から投身するのをためらう民間人を見つけた日本兵が、次々と彼らを狙撃するという信じられない光景をもその目で見る。「生きて虜囚の辱を受けず」(戦陣訓)の強要である。

沖縄戦においても「軍官民共生共死」という基本方針がたてられていたことが明らかになっている。戦場において直接軍の関与があったかなかったかの前に、国策として愛国心を鼓舞し、連合軍が本土に迫ると、「本土決戦」「一億玉砕」を叫んだことは紛れもない事実である。軍は自国民を守らない。非戦闘員もいざとなれば軍人と同じ運命を押しつけられたのだ。

私は07年9月29日、「11万人集会」の怒りの渦の中にいた。この力に押された文科省は、教科書会社からの「自主訂正・修正」という形での記述変更を認めざるを得なかった。しかし、軍関与の記述は認めたものの「強制」の表記は認めていない。検定意見そのものの撤回もかたくなに拒んでいる。



集会で見た外国人参加者が掲げるプラカードにこう書いてあった。



Those who lie about the past are preparing to repeat it.

< 過去を偽るものは、それを繰り返そうと準備しているのだ >

岩手高教組では、今年も13名の高校生を「オキナワの旅」に派遣した。ある生徒は「この旅を通して、教科書の中の『戦争』とは全く違う『戦争』の存在を確認することができました。改めて、もう二度と、何があっても戦争を起こすことなく、全世界の人々が安心して暮らせる世界にしなければならぬと感じました。この旅での経験や感じたことを、今度は私

が周りの人たちに伝えてゆく番だと思いました。」と感想を述べてくれた。13名の高校生は、それぞれが沖縄戦の真実を肌で学んでくれたようだ

岩手高教組 三浦 輝夫

次回の署名行動

3月は、9日(日)に肴町アーケード前にて12:00より行います

3月になり暖かくなってきました。街宣を再開し、元気よく行いたいと思いますので、皆さん参加してください。

今年も、会員200人をめざします！

私たちは結成以来、月1回の街宣や署名活動など、さまざまな活動をしてきました。昨年は他団体と協力しながら、国民投票法や憲法についての学習講演会と映画「日本の青空」上映を成功させ、組織的・個人的つながりを得ることができました。また、多くの方々の目に触れるように、幟やポスターなどの宣伝物も作成。商店街にも掲示を依頼し、市民にアピールしてきました。

今年も、「9条世界会議」への会員の派遣や、「戦争体験を語る市民のつどい」開催、「日本の青空」上映第2弾を計画しています。会員も200名(現在107名)まで増やそうと、カバンや車に貼れるようなステッカーの作成も検討中です！
(みやこ九条の会 田代陽子さん)

平和憲法をいかし広げる岩手の会

今年も「意見広告」に取り組みます



昨年の参議院選挙結果により安部から福田政権へと移行、「改憲」の動きも止まったような錯覚をしていますが、自民党政権であることには変わりなく、憲法改悪の流れが止まっていないことを改めて肝に銘じなければなりません。

「憲法を活かす会」では、私たち自身の決意をより強固なものとするため、新聞紙上に氏名を掲載するとともに、多くの県民に広く運動への参加を呼びかけます。

掲載 5月3日(憲法記念日)岩手日報(全面) - 賛同団体名・個人名と広告
朝日新聞(岩手版) - 広告
個人一口1000円、団体一口5000円、4月9日(金)締め切りで取り組みます。

音楽でつづる平和コンサート



9条河南の会(準備会)・いわて生協中央コープ・盛岡医療生協河南支部が合同で主催します。特攻隊員の母への遺書、戦死した夫への恋文・・・朗読を織り交ぜながら、名曲誕生の物語をお届けします。曲目はベートーベン「月光」、「岸壁の母」、「さとうきび畑」ほか。

日時 ; 3月25日(火) 13:30 開演
場所 ; 盛岡劇場タウンホール(盛岡市松尾町)
参加費 ; 300円(中学生以下無料)

「日本の青空」上映予定

3月28日(金)
奥州市Zホール<中ホール>
14:00 ~ 18:30 ~

3月29日(土)
奥州市Zホール<中ホール>
14:00 ~ 18:30 ~

イラク戦争5年・世界反戦デー
世界の平和を願う
特別、岩手の平和を願う人と一緒に行きましょう!

岩手県民のつどい

2008年3月22日(土)
教育会館「大ホール」

講演 東京外国語大学大学院教授
伊勢崎賢治さん